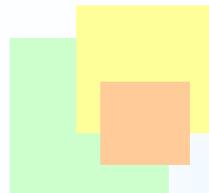


# 2008年5月期 中間決算説明資料

2008年1月16日





# 目次

**2007年11月中間期 決算概要**

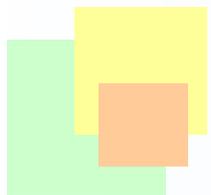
**2008年5月期 通期見通し**

**来期以降の見通し**

**[参考]ミタチ産業グループの概要**

## **将来の予想に関する注意事項**

本資料は、当社が現時点で把握可能な情報に基づいて判断した業績予想を記載しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがあります。



# 2007年11月中間期 決算概要

# 中間連結決算実績

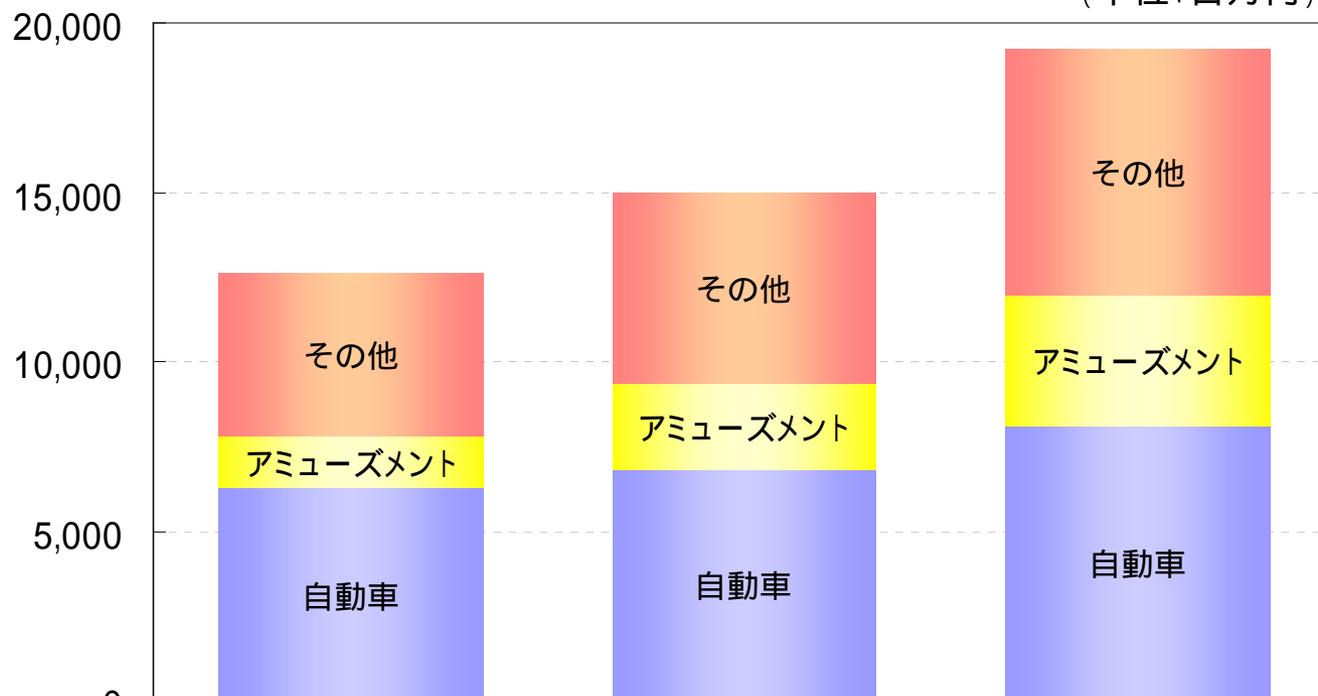
Creative Innovation  
for the Future

(単位:百万円)

	2005年11月 中間期		2006年11月 中間期		2007年11月 中間期		
		百分比		百分比		百分比	前年 同期比
売上高	12,588	100.0%	14,958	100.0%	19,257	100.0%	+ 28.7%
売上総利益	1,271	10.1%	1,425	9.5%	1,681	8.7%	+ 18.0%
販売費及び 一般管理費	904	7.2%	1,086	7.2%	1,174	6.1%	+ 8.1%
営業利益	367	2.9%	338	2.3%	506	2.6%	+ 49.5%
経常利益	420	3.3%	397	2.7%	517	2.7%	+ 30.3%
中間純利益	256	2.0%	224	1.5%	244	1.3%	+ 8.9%

# 業種別 中間連結売上高

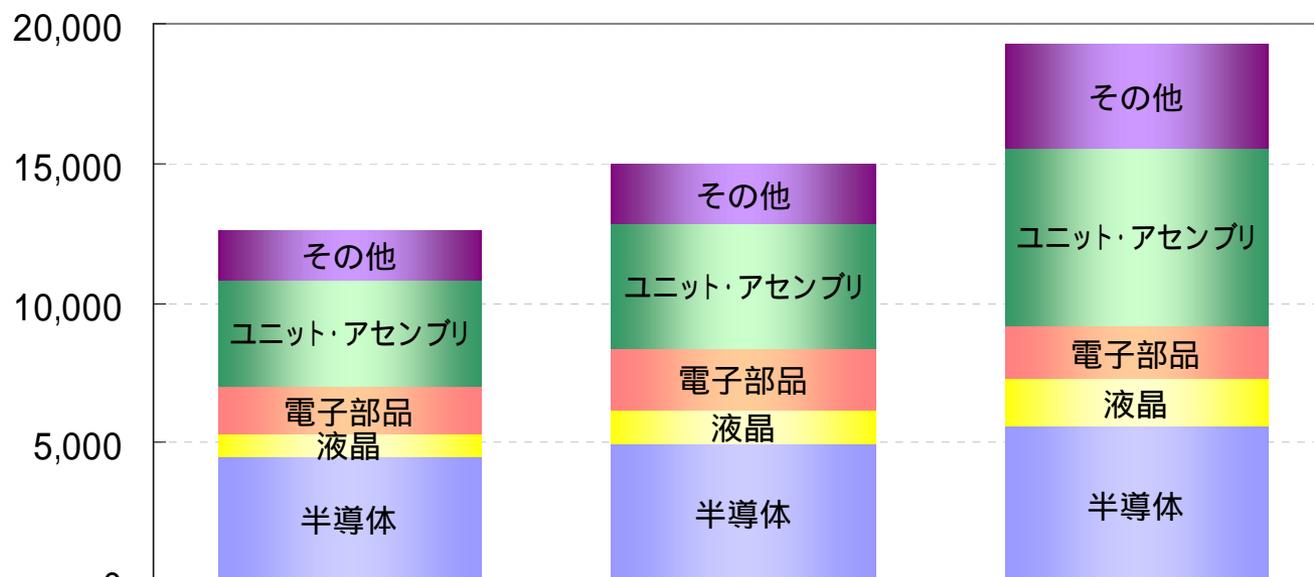
(単位:百万円)



	2005年11月中間期		2006年11月中間期		2007年11月中間期		前年同期比
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	
自動車	6,293	50.0%	6,802	45.5%	8,087	42.0%	+ 18.9%
アミューズメント	1,531	12.2%	2,533	16.9%	3,878	20.1%	+ 53.1%
その他	4,764	37.8%	5,622	37.6%	7,291	37.9%	+ 29.7%
合計	12,588	100.0%	14,958	100.0%	19,257	100.0%	+ 28.7%

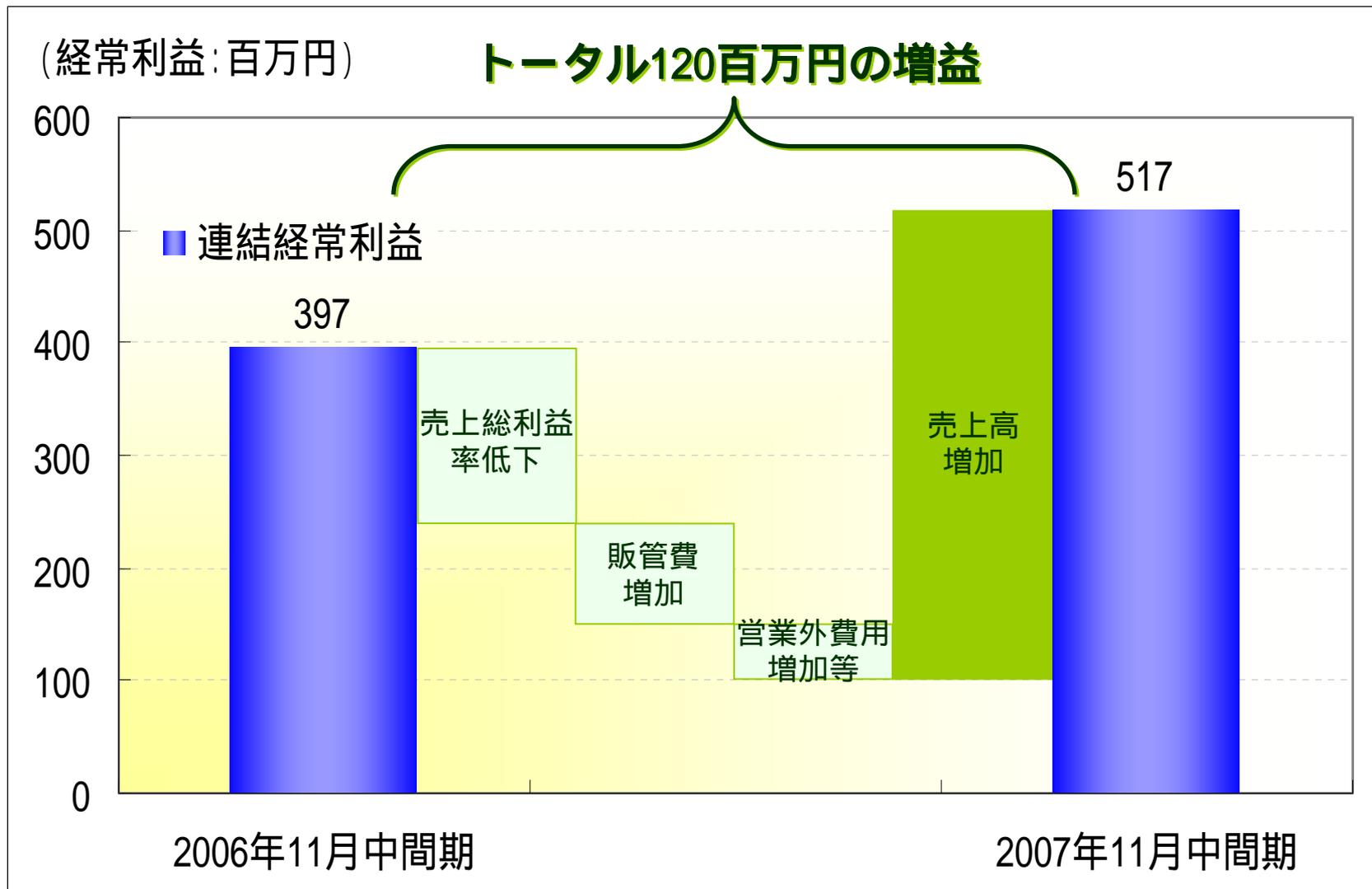
# 商品別 中間連結売上高

(単位:百万円)



	2005年11月中間期		2006年11月中間期		2007年11月中間期		前年同期比
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	
半 導 体	4,531	36.0%	4,953	33.1%	5,558	28.9%	+ 12.2%
液 晶	802	6.4%	1,178	7.9%	1,772	9.2%	+ 50.5%
電 子 部 品	1,724	13.7%	2,222	14.8%	1,867	9.7%	16.0%
ユニット・アセンブリ	3,789	30.1%	4,453	29.8%	6,387	33.2%	+ 43.4%
そ の 他	1,741	13.8%	2,150	14.4%	3,670	19.0%	+ 70.7%
合 計	12,588	100.0%	14,958	100.0%	19,257	100.0%	+ 28.7%

# 中間連結経常利益 増減要因分析



# 中間連結貸借対照表

Creative Innovation  
for the Future

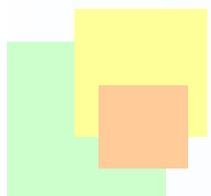
(単位:百万円)

	2006年11月 中間期	2007年11月 中間期	増減
流動資産	9,930	11,285	+1,355
現金及び預金	978	1,051	+72
受取手形及び売掛金	6,371	6,988	+616
たな卸資産	2,382	2,957	+574
その他流動資産	197	288	+91
固定資産	1,879	1,753	125
資産合計	11,810	13,039	+1,229
負債	7,366	8,134	+768
支払手形及び買掛金	4,551	5,239	+687
有利子負債	2,166	2,150	16
その他の負債	647	744	+97
純資産	4,444	4,904	+460
株主資本	4,342	4,798	+456
その他の純資産	101	106	+4
負債純資産合計	11,810	13,039	+1,229

# 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2006年11月 中間期	2007年11月 中間期	増減
営業キャッシュ・フロー	230	516	+ 746
投資キャッシュ・フロー	174	35	+ 138
財務キャッシュ・フロー	86	727	813
換算差額	0	8	+ 7
現金等増減額	317	237	+ 79
現金等の期首残高	1,156	1,257	+ 100
新規連結による現金等増減額	103	-	103
現金等の中間期末残高	943	1,019	+ 75



# 2008年5月期 通期見通し

# 通期連結決算見通し

Creative Innovation  
for the Future

(単位:百万円)

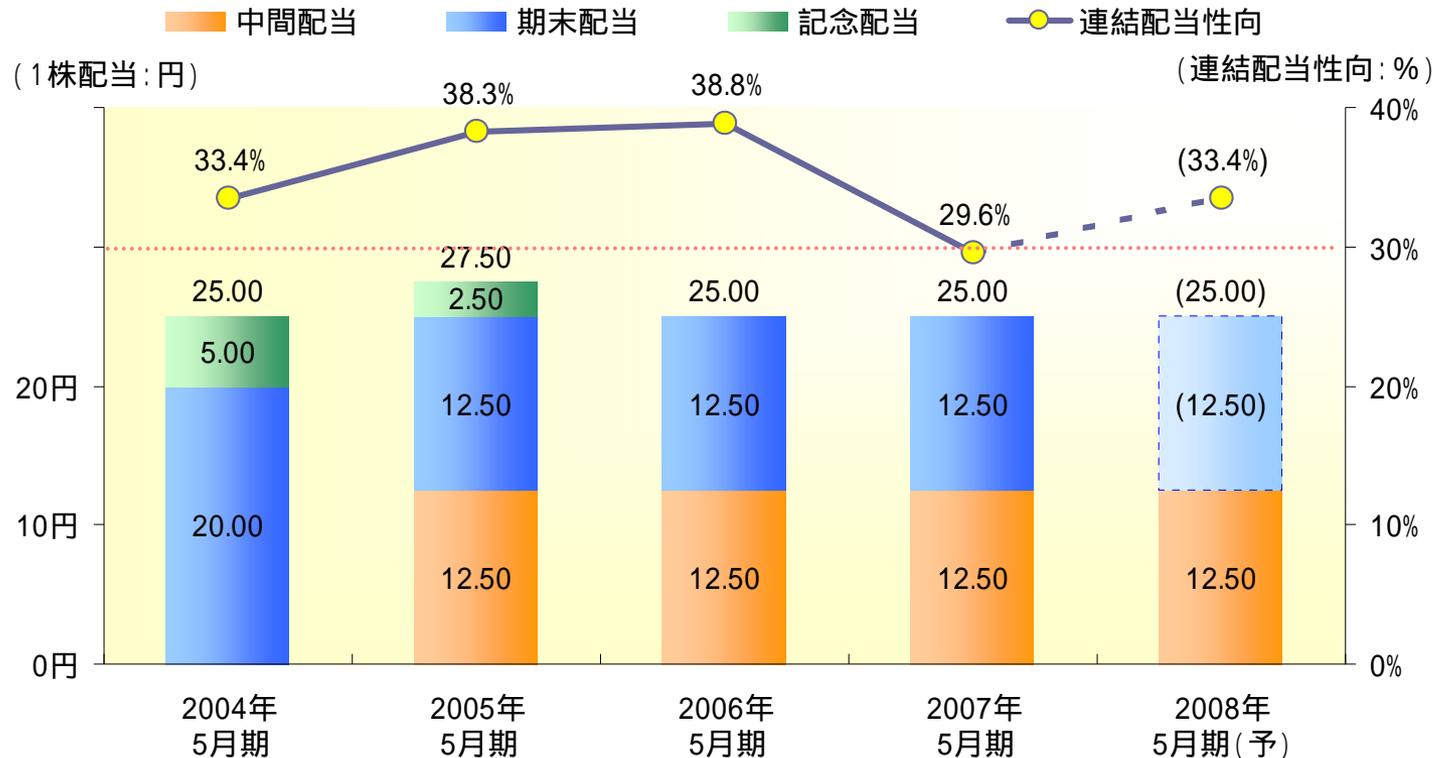
	2007年5月期		2008年5月期					
	通期		上期		下期		通期	
	実績	百分比	実績	百分比	予想	百分比	予想	百分比
売上高	34,601	100.0%	19,257	100.0%	20,042	100.0%	39,300	100.0%
売上総利益	3,234	9.3%	1,681	8.7%	1,708	8.5%	3,390	8.6%
販売費及び 一般管理費	2,257	6.5%	1,174	6.1%	1,205	6.0%	2,380	6.0%
営業利益	976	2.8%	506	2.6%	503	2.5%	1,010	2.6%
経常利益	1,104	3.2%	517	2.7%	522	2.6%	1,040	2.6%
当期純利益	620	1.8%	244	1.3%	305	1.5%	550	1.4%

# 業種別 通期連結売上高見通し

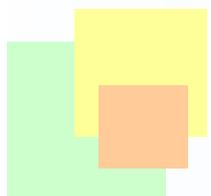
(単位:百万円)

	2007年5月期		2008年5月期					
	通期		上期		下期		通期	
	実績	構成比	実績	構成比	予想	構成比	予想	構成比
自動車	14,663	42.4%	8,087	42.0%	8,772	43.8 %	16,860	42.9 %
アミューズメント	8,563	24.7%	3,878	20.1%	4,441	22.1 %	8,320	21.2 %
その他	11,375	32.9%	7,291	37.9%	6,828	34.1 %	14,120	35.9 %
合計	34,601	100.0%	19,257	100.0%	20,042	100.0 %	39,300	100.0%

当社では財務体質と経営基盤の強化に努めるとともに、株主に対する利益還元を経営の重要課題と考えており、連結配当性向は30%程度を目安としております。



2004年5月期は、東証・名証各二部上場記念配当を行っております。  
2005年5月期は、東証・名証各一部指定記念配当を行っております。



# 来期以降の見通し

カーナビはハードディスクナビを軸に、さらなる市場拡大を見込む  
ハイブリッドカーは北米市場を中心として、さらに需要が拡大する見通し  
その他の用途でも電子部品需要は旺盛。新規商材受注獲得の好機

「安全」「環境」「情報」「快適」を  
キーワードとして、カーエレクトロ  
ニクスはさらに伸展する見通し



カーナビ向け商材  
液晶  
ハードディスク  
EMS



ハイブリッドカー向け商材  
駆動・発電モーター  
ウォーターポンプ用IC



その他商材の主な用途

エンジン、ブレーキなどの電子制御  
イモビライザー、電子キー  
キーレスシステム  
カーアクセサリ

“光革命”の主役！第四世代のあかり“LED”！！  
世界トップレベルの技術力を誇る日本の工作機械  
価格競争力が高い台湾商材

光半導体の受託生産を担うフィリピン現地法人の工場



工作機械の制御盤をアセンブリ



顧客獲得の突破口「台湾商材」



アミューズメント業界は一大変革期に突入！  
ユーザーの減少とホールの減少・大型化など市場環境は一変  
「安く、長く、楽しく」遊べる大衆娯楽へと変貌！！



半導体、電子部品  
液晶ディスプレイ  
電飾モジュール  
メモリモジュール  
機構部品  
ユニット製品  
その他

区 分	来期以降の見通し	
自動車		<p>カーナビ市場は欧州・北米・中国向け等の伸展が見込まれるが、メーカー間の競争は激化しており、従来に比べれば成長はやや鈍化する見通し。ただしハードディスクの搭載率は今後さらに高まる見通しであり、同販売は来期以降も相応の伸展を見込む。ハイブリッドカー用駆動・発電モーターは、北米市場のハイブリッドカー人気を受け、来期以降の倍増を見込む。</p>
ソリューション		<p>光半導体の受託加工については、従来の携帯電話用途等に加え、今後はノートPC・液晶TV向けバックライトなど、さらなる用途の広がりが期待される。中長期的にも光源市場（特に照明用途）の変革により、大幅な受注増を期待。</p> <p>工作機械関連の受託加工は、来期以降も堅調に推移する見通し。</p>
アミューズメント		<p>ホール数の減少もあり、遊技機市場全体としての販売台数は減少する見通し。</p> <p>ただし台当たりの半導体・電子部品の点数は増加傾向にあり、来期の販売数量増を見込む。</p> <p>また今後はメモリモジュールやユニット製品など新規商材および付加価値商品の拡販を推進していく方針。</p>

 来期以降の見通し

「お客様が困っていることを解決しよう」  
という熱き思いが当社の原点



商社という枠組みに捉われることなく  
顧客ニーズをつかんで自ら市場創造へ



“新規ビジネスへのチャレンジ”を積極化！

多機能情報モニタ

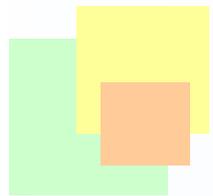
電子部品製造

シリコンウェハーリサイクル

サーマルソリューション

セラミックガラス

ヘルスケア



## **[参考]ミタチ産業グループの概要**

本社所在地 : 名古屋市中区

設立年月 : 1976年7月 (創業年月 : 1972年9月)

資本金 : 5億2160万円 (2007年11月末)

代表者 : 代表取締役社長 橋 至朗

従業員数 : 連結671名 (2007年11月末)

単独139名 (2007年11月末)

上場市場 : 東証一部・名証一部

事業内容 : 半導体、電子部品、電子機器などの販売、製造



ミタチ産業グループは国内2社、海外4社の計6社にて構成されています。



	主な機能・役割
ミタチ産業	半導体、電子部品、電子機器などの販売、製造
大洋電機	電子部品の製造、電子機器のOEM生産
M.A.TECHNOLOGY	光半導体、カーエレクトロニクス用制御基板、OA関連受託生産
美達奇(香港)	海外進出日本企業および現地企業向け電子部品の販売
台湾美達旗股份	電子部品の国内向け調達
敏拓吉電子(上海)	電子機器・部品の国内向け調達





お客様

当社  
株主様

仕入先様

当社の社名は三つで成り立つ(お客様、当社、仕入先様)という三位一体の精神に由来しています。

また当社のシンボルマークはミタチのイニシャル「M」と「ガールの水道橋」のアーチをモチーフに生まれました。

## ミタチの精神的基盤となっている5つの「経営哲学」

顧客第一主義

人間尊重

一流へのチャレンジ

創造的革新

企業の社会的貢献

当社グループの強みは「**お客様が困っていることを解決しよう!**」  
という熱き思いが、その原点です。

## ミタチの強み その

当社は特定のメーカーに属さない独立系商社のため、豊富な仕入先と品揃えを有し、“ワンストップ”でお客様にあらゆる商材を提案することが可能となっています。

## ミタチの強み その

当社は様々な顧客ニーズに対応すべくメーカー機能の充実を図っております。また自ら市場を開拓すべく、自社ブランド製品の開発を推進しています。



## ミタチの強み その

当社は自動車、アミューズメント機器、工作機械それぞれの電子化と共に歩み、発展してまいりました。また同分野に精通した専門の営業部隊を有しています。

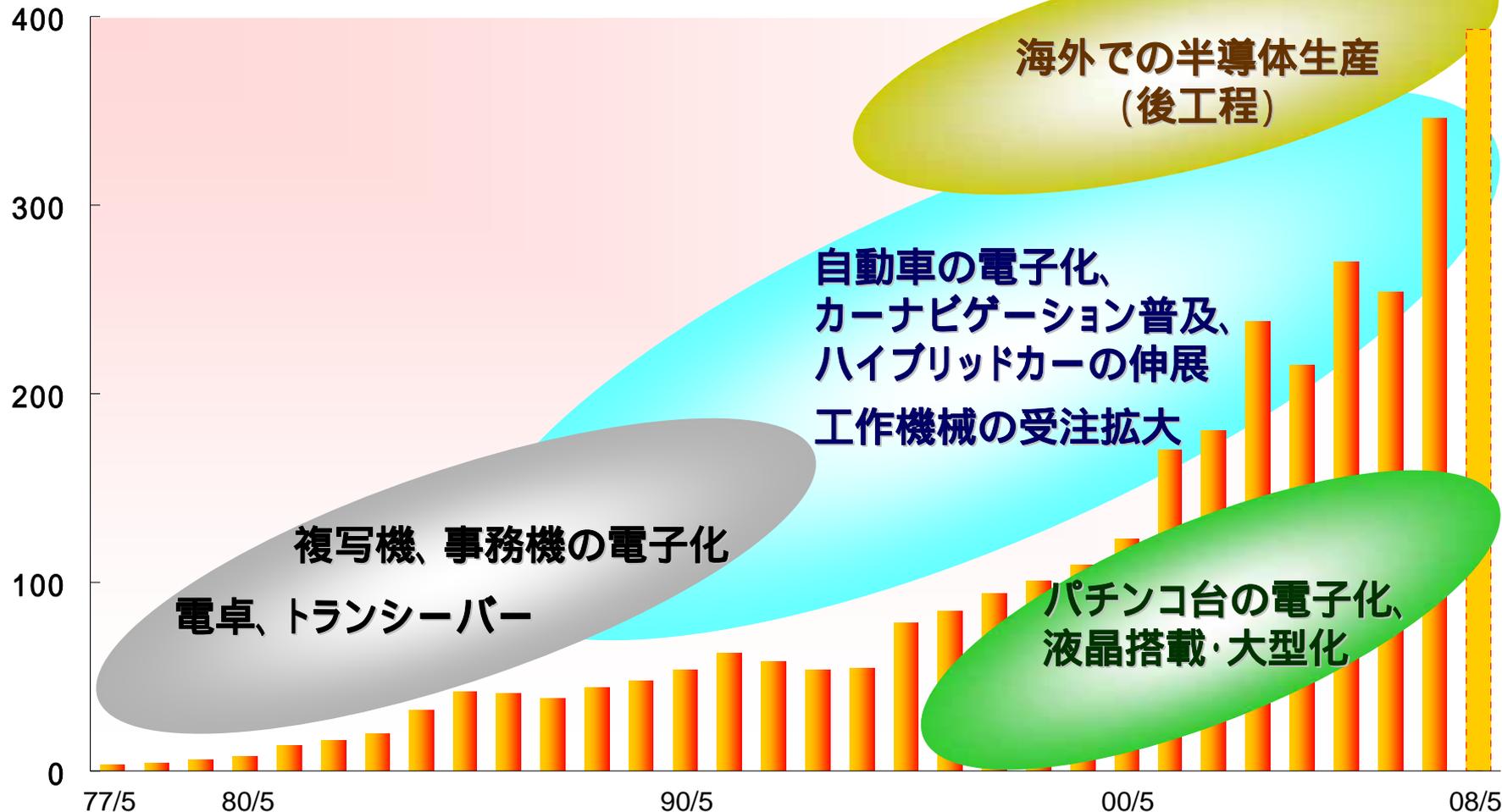


# 事業の変遷および業績推移

Creative Innovation  
for the Future

当社は時代のニーズに合わせて自らを変革し、発展を遂げてまいりました。

(売上高:億円)





 **三ツ子産業株式会社**

<http://www.mitachi.co.jp>

お問い合わせ先：経営企画グループ TEL：052-332-2512  
URL：www.mitachi.co.jp/ir